

2025年 11月 19日

島根中央信用金庫(理事長 福間 均)の2025年4月～9月の業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

島根中央信用金庫 2025年度上半期の業績について

売上高にあたる経常収益は、前年同期比0.4%増の38億15百万円となりました。住宅ローンの増加等による貸出金利息の増加や、有価証券の組み換えによる売却益の増加などが主な要因でした。

また当期純利益は、前年同期比18.8%増の6億30百万円となりました。これにより前年同期比で増収増益となり、上半期としては過去最高益となりました。

本業での最も中核的な収益力を示すコア業務純益(投資信託解約損益を除く)は、前年同期比23.4%増の8億28百万円となり、こちらも上半期としては過去最高益となりました。

自己資本比率は、前年同期比0.49ポイント低下し8.75%となり、不良債権比率は0.46ポイント上昇し4.67%となりました。

通期の業績予想は、経常収益が前年同期比12.4%減の69億44百万円、経常利益は7.6%増の13億41百万円、純利益は、店舗の減損などにより31.3%減の6億32百万円を見込んでいます。

(単位:百万円、%)

	2025年			2024年
	9月期	前年同期比	増減率	9月期
預金残高	310,087	7,586	2.5	302,500
貸出金残高	176,497	6,823	4.0	169,674
経常収益	3,815	18	0.4	3,796
経常利益	888	156	21.4	731
当期純利益	630	100	18.8	530
コア業務純益	960	289	43.2	670
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	828	157	23.4	670

- 2025 年度上半期の預金残高は、前年同期比 2.5%増の 3,100 億円、貸出金残高は同 4.0%増の 1,764 億円となりました。いずれも 10 期連続の増加となり、上半期としては過去最高の残高となりました。
 - 預金残高は、「地域応縁！定期預金」シリーズが好評で、個人のお客さまや一般法人のお客さまの預金が順調に増加し、75 億 86 百万円(2.5%)の増加となりました。
 - 貸出金残高は、個人向け「住宅ローンぬくもり 130」の増加や、取引先企業への伴走支援の強化および与信判断の迅速化を進めたこと等により、68 億 23 百万円(4.0%)の増加となりました。

- 売上高にあたる経常収益は、前年同期比 0.4%増の 38 億 15 百万円となり、上半期としては 4 期連続の増収で過去最高となりました。
 - 個人の住宅ローンや法人向け貸し出しの増加により、貸出金利息は 1 億 64 百万円の増加となりました。
 - 有価証券の組み換えにより、有価証券利息が 2 億 98 百万円の増加となりました。

- 経常利益は 21.4%増の 8 億 88 百万円となり、上半期としては過去最高益となりました。
 - 貸出金残高の増加や資金運用利回りの上昇により資金利益が 3 億 47 百万円(17.6%)の増加となりました。
 - 預金金利の上昇により預金利息は 1 億 78 百万円の増加となりましたが、貸出金利息や有価証券利息の増加がそれを上回り、経常利益は 2 期ぶりの増益となりました。

- 当期純利益は 18.8%増の 6 億 30 百万円となり、上半期としては過去最高益となりました。
 - 税引後当期純利益は、前年同期比 1 億円(18.8%)増益の 6 億 30 百万円となり、過去最高益となりました。

- 本業での最も中核的な収益力を示すコア業務純益(投資信託解約損益を除く)は、1 億 57 百万円(23.4%)増益の 8 億 28 百万円となり、上半期としては過去最高益となりました。

以上



「ユースエール認定制度」とは、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。

本件に関するお問い合わせ先
 島根中央信用金庫
 経営企画部 竹下・三島
 TEL (0853) 20-1000

